

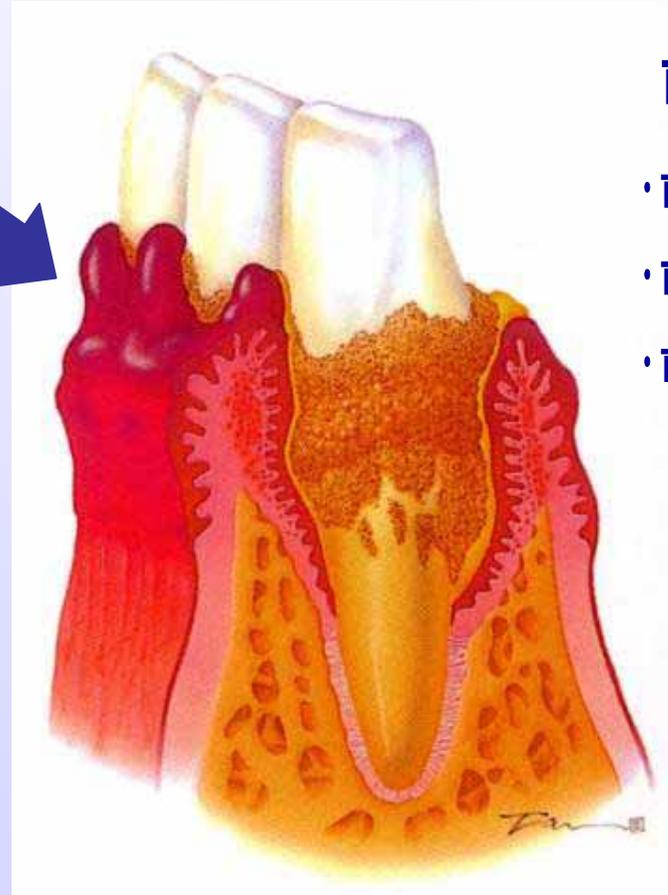
糖尿病と歯周病

－第6番目の合併症－

高知県歯科医師会 地域保健部
野村圭介

歯周病とは

健康な歯ぐき



歯周病の症状

- ・歯ぐきから血や膿が出る
- ・歯ぐきが腫れる
- ・歯がぐらつく

炎症によって、歯を支えている歯ぐきや骨といった「歯周組織」が破壊される病気

健康な歯肉

歯肉炎

歯周炎



健康な歯肉

- ・色: ピンク色
- ・形: とんがっている
- ・固さ: 固い
- ・出血: なし



歯肉炎

- ・歯と歯の間の三角の部分が丸みを帯びている
- ・赤く腫れぼったい感じがする
- ・さわると血が出る、痛くないのに血が出る



歯周炎

- ・歯肉が下がって歯の根が見えてくる (歯が長くなったように見える)
- ・歯がグラグラする
- ・膿が出る
- ・口臭がある

歯周病の原因はプラーク

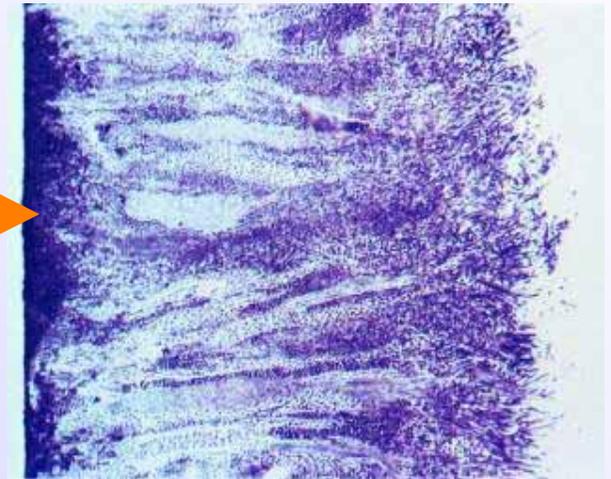
染め出されたプラーク



プラーク 食べかす

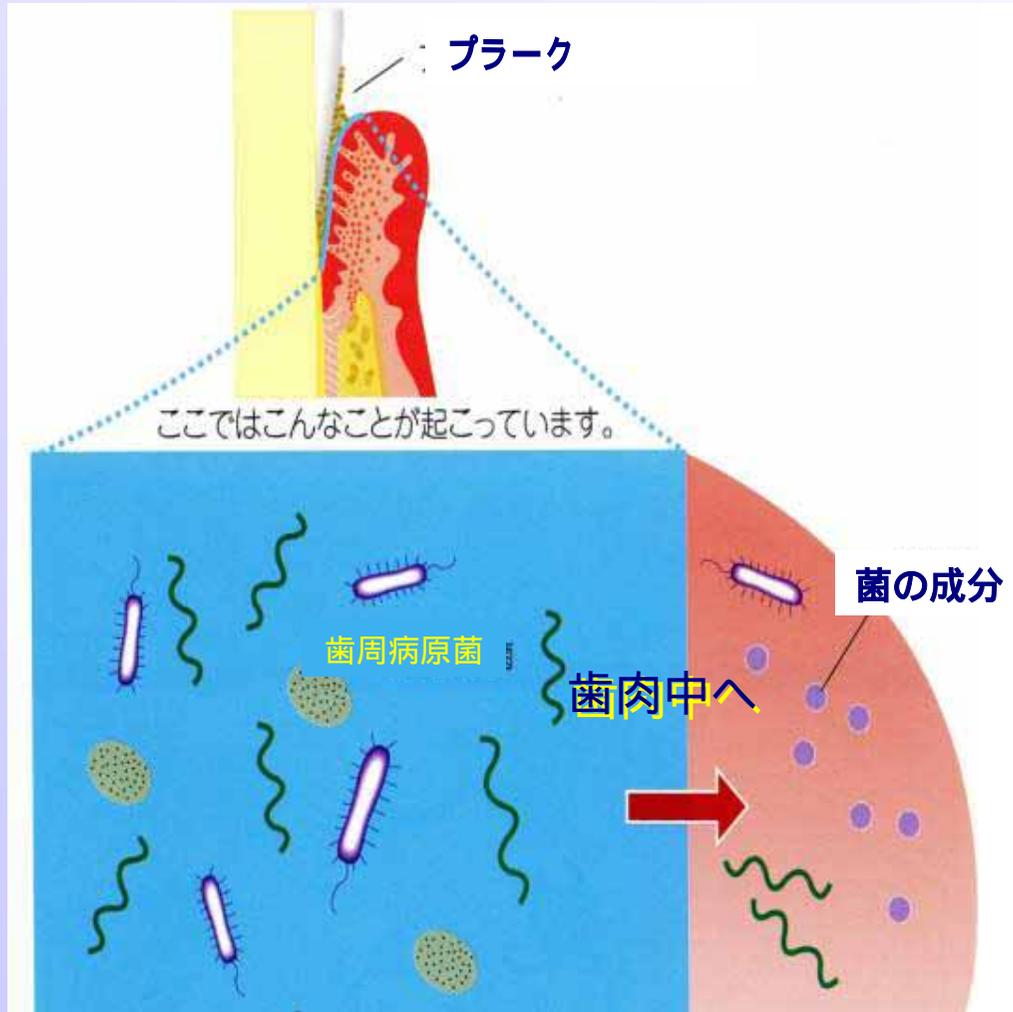
プラークは細菌の塊

- 口の中には300種類以上の細菌が棲んでいる
- その数は500億～1兆個
- 細菌はお互い同士が集まって塊を作る
- このプラークの中の細菌が歯周組織に炎症を起こさせる



プラーク中細菌の顕微鏡写真

歯周病の原因となる細菌



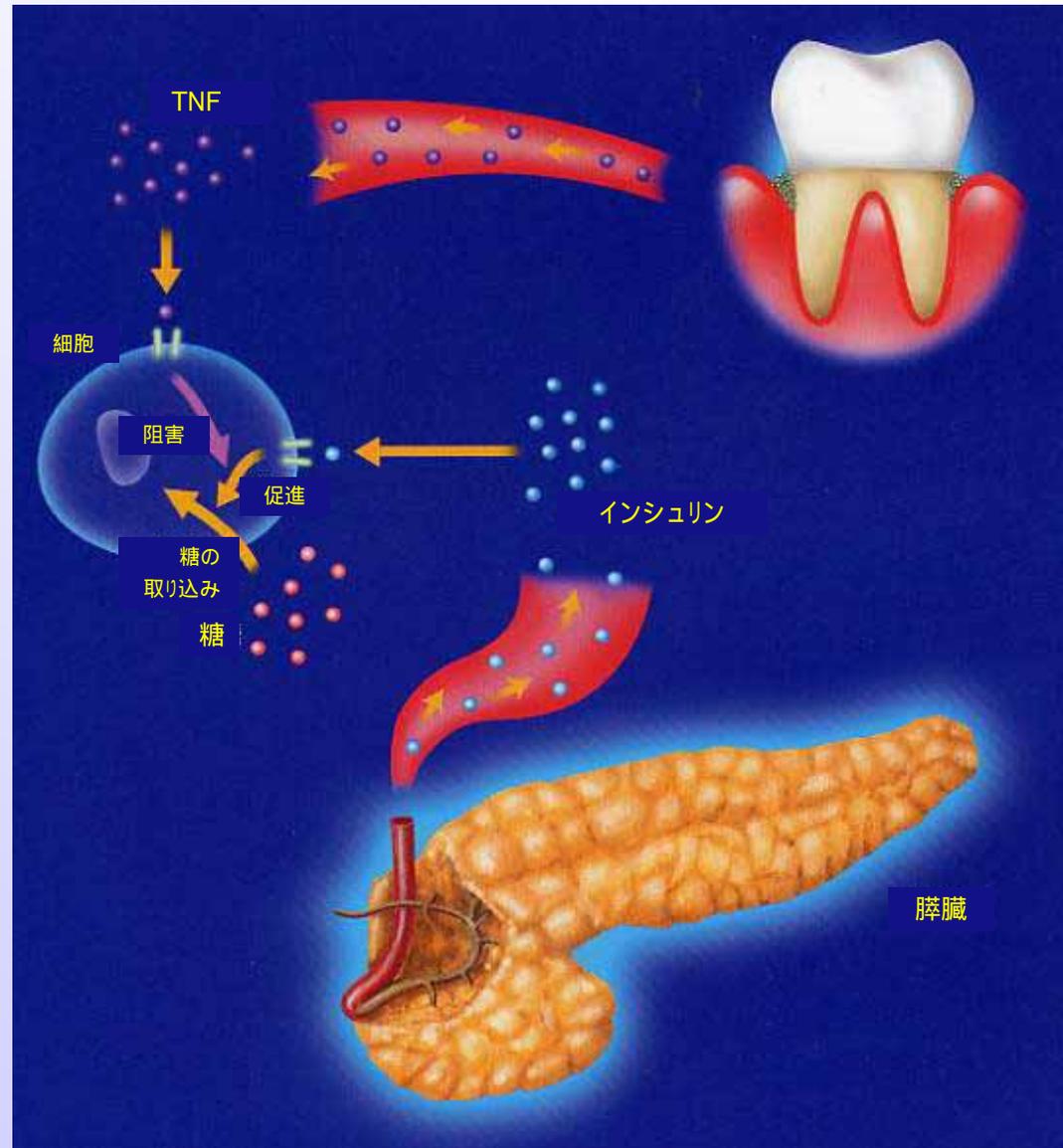
血液中へ

Porphyromonas gingivalis
Tanerella forsythensis
Treponema denticola

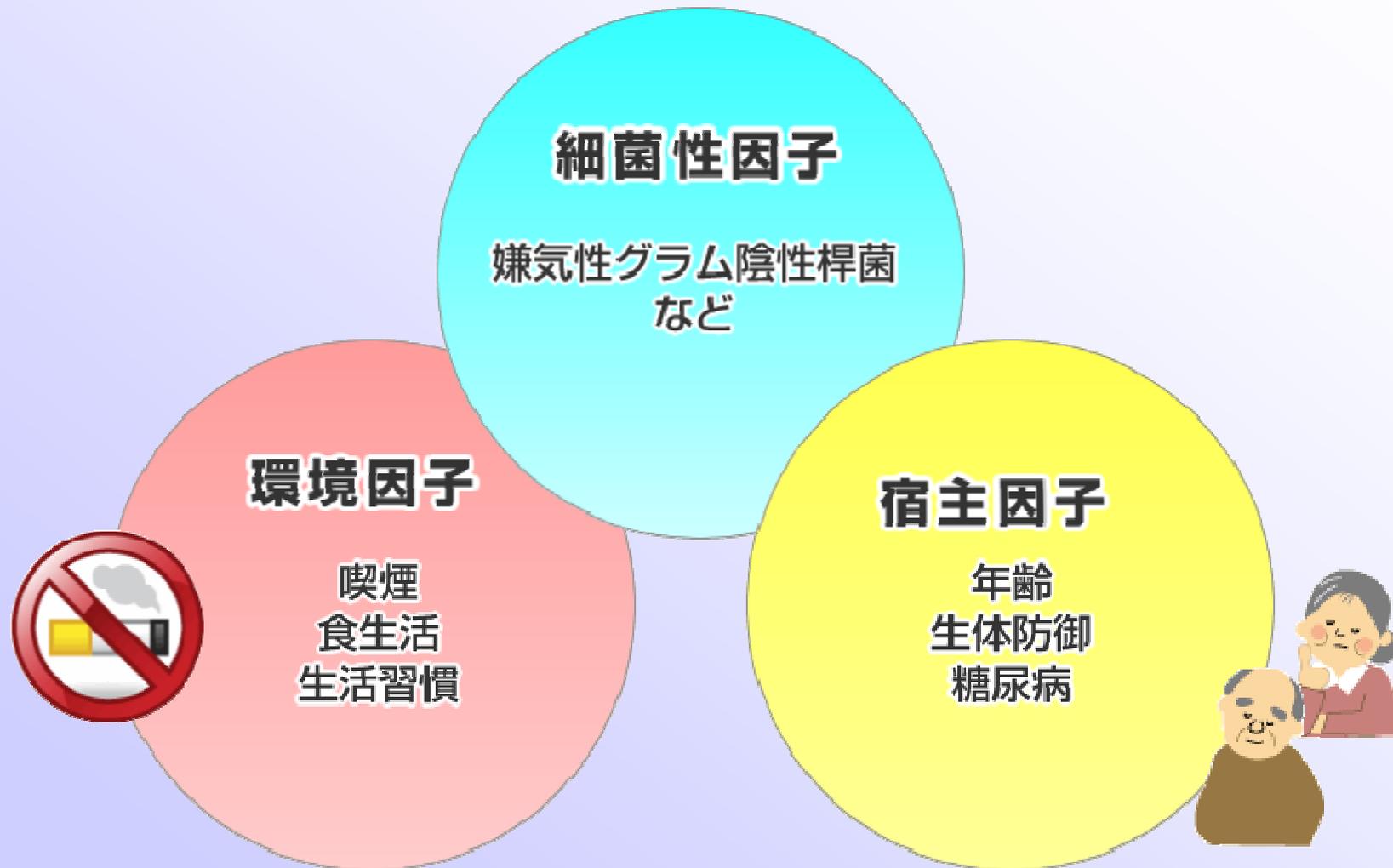
- ・歯周病の原因となる細菌は1種類ではなく複数ある
- ・歯周病の原因となる細菌は嫌気性菌が多い
- ・嫌気性菌は歯と歯ぐきなどの境目など空気の少ないところで良く繁殖する
- ・嫌気性菌は有害物質を出して歯周組織に炎症を起こさせる

歯周病が糖尿病に影響する

- ・最近、歯周病が糖尿病に影響を及ぼす可能性が示唆されている。
- ・血液中に流れ込んだ歯周病原菌はTNF を誘導する。
- ・このTNF は、インシュリンの働きを阻害するといわれている。
- ・以上から、歯周病がインシュリンの働きを阻害して、糖尿病を悪化させる可能性があると考えられている。



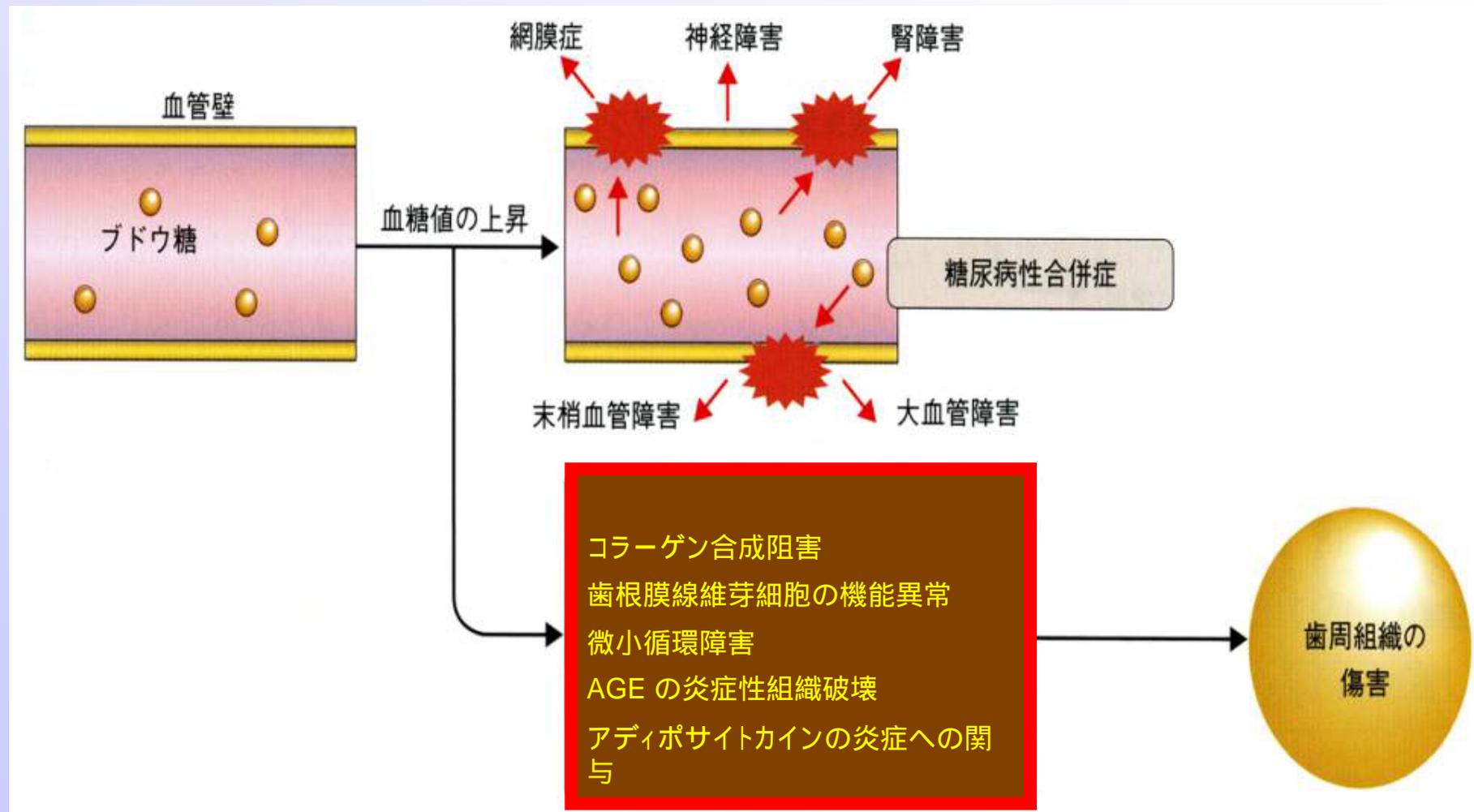
歯周病の三つの因子



歯周病は糖尿病の第6番目の合併症

合併症	障害の内容	典型的な予後不良例
糖尿病網膜症	網膜に出血や剥離などの障害が生じる	失明
糖尿病腎症	腎臓の糸球体に障害が生じる	腎不全
糖尿病神経障害	神経に障害が生じる．典型的な初期症状は両足の裏の痺れ．重症のものは痛みを感じなくなり，細菌感染に気づかず，下肢の切断も	下肢切断
糖尿病足病変	主に下肢への血行が障害される．歩行障害や下肢切断も	歩行障害 下肢切断
動脈硬化性疾患	心臓の冠動脈や脳血管が障害を受ける	狭心症 心筋梗塞 脳卒中
歯周病	歯周病の重症化に関係する	歯の喪失

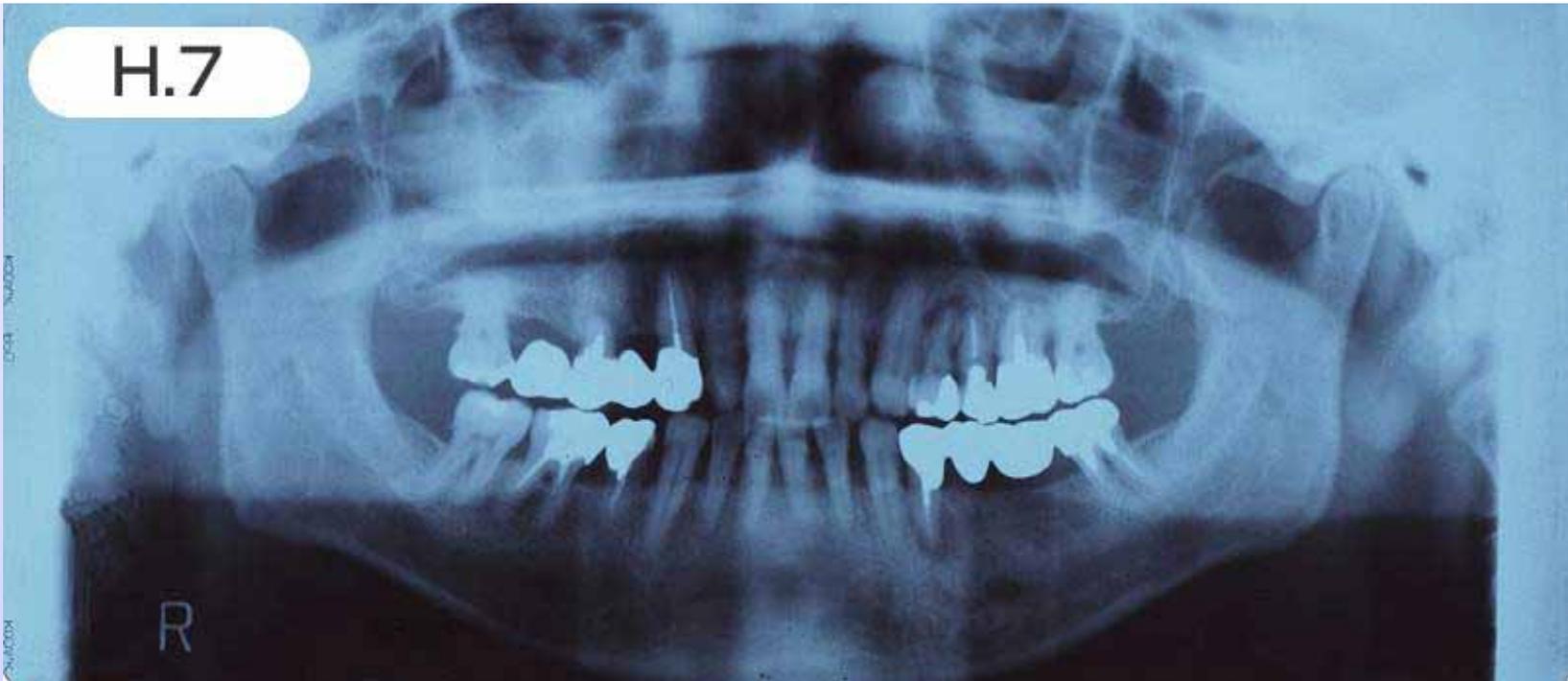
糖尿病が歯周病に及ぼす影響のメカニズム



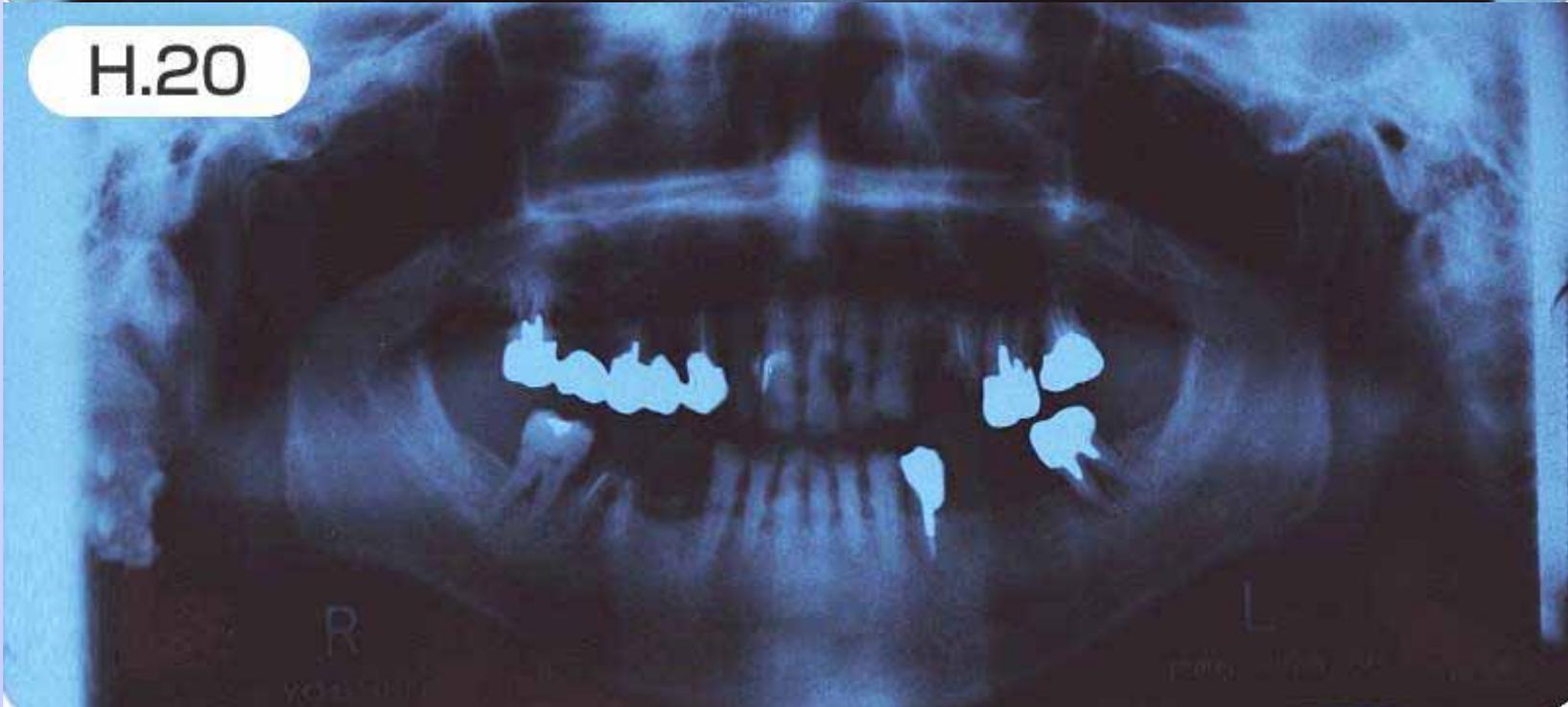
糖尿病の方の口腔



H.7



H.20



糖尿病が歯周病に及ぼす影響

糖尿病に罹っている人は、糖尿病でない人と比べて**歯周病に罹りやすい**。

糖尿病に罹っている人は、糖尿病でない人と比べて**歯周病がより進行しやすい**。

血糖コントロールが悪いと、歯周病が進行するリスクが高まる。

生活問診の実施

対象

・事業所で歯科健診を受診した者
140名

(うち40才以上91名を抽出)

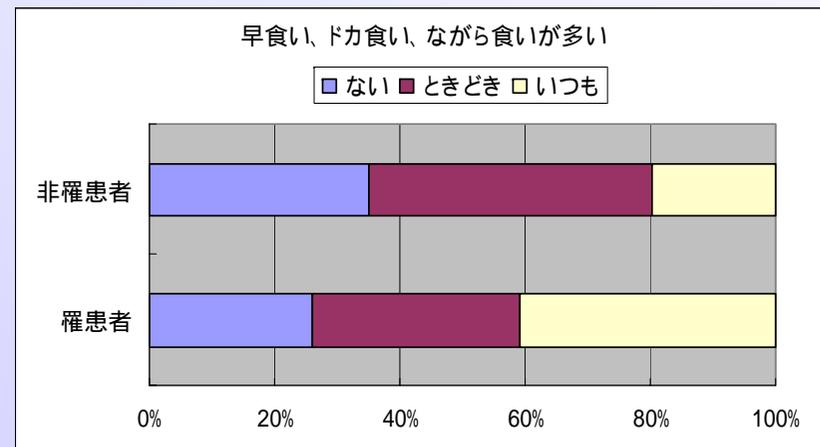
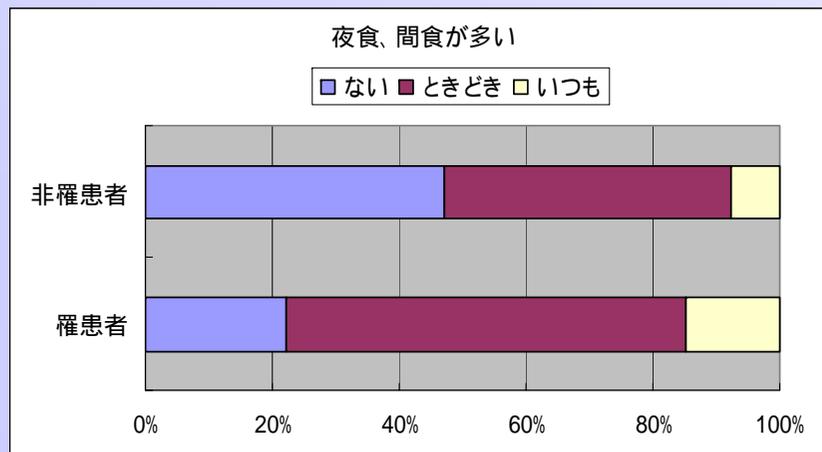
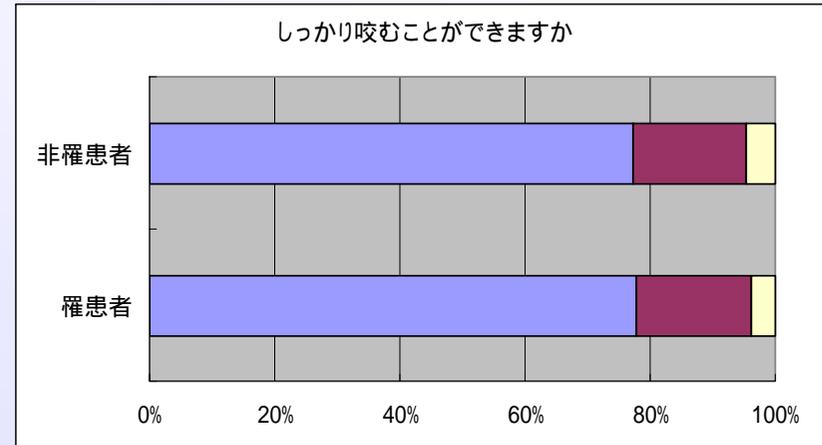
・事業所健診で糖尿病の病歴を
申告した者及び歯科医院受診者
の中で糖尿病の病歴のある者
27名

自記式により生活問診を行った

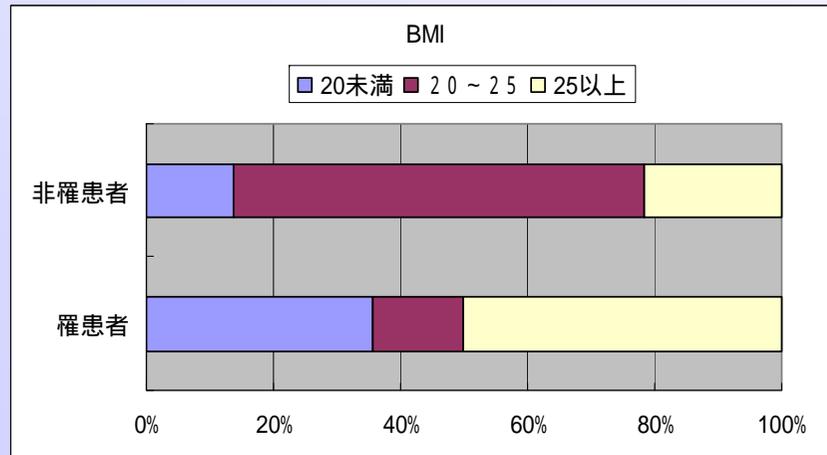
1. この1年間に歯や歯ぐきのことが原因で仕事に支障をきたしたことがある
2. 現在、自分の歯または入れ歯で左右の奥歯をしっかりと噛みしめられますか？
3. 自分の歯は何本ありますか？
親らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。
さし歯は含みます。
4. 歯をみがくと血がでる
5. 冷たいものや熱いものが歯にしみる
6. 夜、寝る前に歯をみがきますか？
7. 歯間ブラシまたはフロス(糸ようじ)を使っていますか？
8. 早食い、ドカ食い、ながら食いが多い
9. 夜食や間食が多い
10. 年に1回以上は歯科医院で定期健診を受けていますか？
11. かかりつけの歯科医院はありますか？
12. 歯科治療が不安で、安心してかかれる歯科医院がない
13. 仕事が忙しくて、なかなか歯科医院に行けない
14. 歯科医院で歯みがき指導を受けたことはありますか？
15. たばこを一日一箱(20本)以上吸いますか？
16. 現在、次の病気で治療を受けていますか？
17. 糖尿病もしくは糖尿病予備軍の方で、ご自身のHbA1C、空腹時血糖値をご存知の方はご記入ください。
18. 身長・体重を入力してください。BMI値を計算します。
19. 朝食をきちんと食べている
20. お酒を飲む頻度は

調査の結果

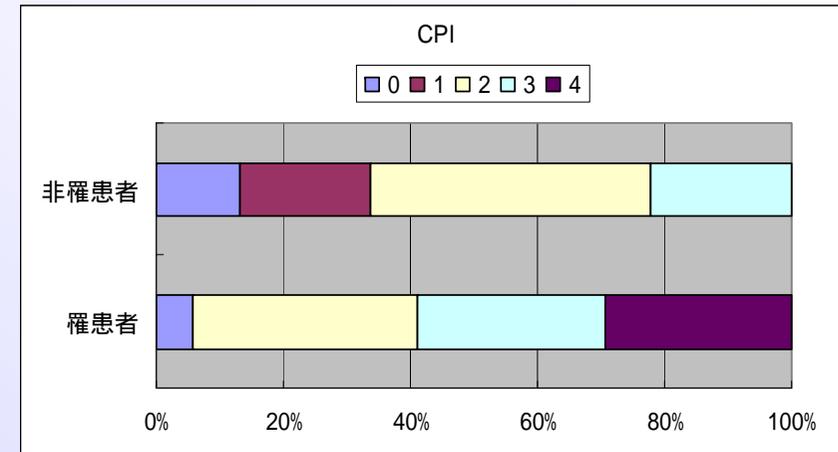
- 生活問診のいくつかの項目を糖尿病の病歴のある者とそれ以外で比較した



BMIとCPIコード(歯肉の状態)



BMIを比較すると糖尿病患者は20未満、25以上が多く20～25の標準値の者が少ない



歯肉の状態(CPI個人コード)を比較すると糖尿病患者は中等度～重度歯周病に罹患している者が多い

CPIコード:4 (重度歯周病 歯周ポケット6mm以上)
CPIコード:3 (中等度歯周病 歯周ポケット4～6mm未満)
CPIコード:2 (軽度歯周病 歯石沈着)
CPIコード:1 (歯肉炎 歯肉出血あり)
CPIコード:0 (健康な歯肉)

糖尿病患者の歯科治療(口の中の特徴)

創傷治癒の遅延と易感染性

血糖値のコントロールとともに、プラークコントロールによって口の中の感染を防ぐことも重要。

唾液分泌量の低下

むし歯や歯周病になりやすいため、プラークコントロールと定期検診が欠かせない。

歯周病が進行しやすい

歯周病の予防と治療が重要。またメンテナンスによって長期的にいい状態を維持することも必要。

プロフェッショナルケア



プラークコントロールの効果



糖尿病患者の歯周病対策

歯周病の検査

まず、自分自身の歯周病の状態を見極めることが必要。歯科医院での歯周病検査で状況を把握する。

プラークコントロール

ブラッシングと専門家による定期的スケーリングによって歯周病の予防を図ることが大事。もし歯周病に罹っていたら、きちんと治療を受けて治す。

メンテナンス

糖尿病患者は歯周病に罹りやすく、悪化しやすい。いい状態を維持するためには、定期検診を欠かさない。